

Hitachi Koki

取扱説明書

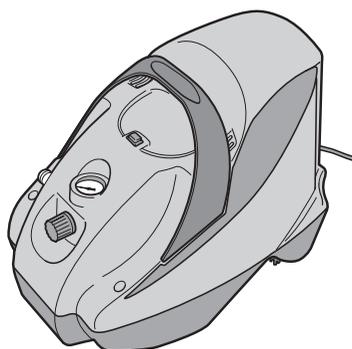
形 名

FEC58

日立工機エアコンプレッサ

このたびは日立工機エアコンプレッサをお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



用 途

- 工具類の手入れ
- 泥、ほこり、水などの吹き飛ばし
- タイヤ、ゴムボートなどの空気補充
- ホビーの塗装
(スプレーガンへの圧縮空気供給源)

エアコンプレッサ の安全上のご注意	1
本機に表示している シンボルマークの説明	5
各部のなまえ	5

はじめに

ご使用前の準備	6
ご使用前の点検	8

準備

使用する	9
作業を終えたら	11
運搬する	12

使いかた

点検・お手入れする	13
故障かな…というときは	14
仕様	15
アフターサービスについて	15

その他

HITACHI

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

エアコンプレッサの安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- エアコンプレッサで吸入圧縮、圧送できるガスは空気のみです。空気以外のガス圧縮には絶対に使用しないでください。(火災・破損などの原因)
- 作業場は、いつもきれいに保ち、十分明るくしてください。
- 作業環境に対応し保護メガネ・保護帽・安全靴・防音保護具などを着用してください。
- 近くに爆発性・引火性ガス(アセチレン・プロパンガスなど)・石油類(ガソリン・灯油など)・有機溶剤(シンナーなど)・爆発性粉じんなど・および火気のない場所で使用してください。(火災・事故の原因)
- 塗装用を使用する場合は、塗装場所から6m以上離れた換気のよい場所に本機を設置してください。また、スプレーガンの取扱説明書および塗料の注意事項を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。(火災・事故の原因)
- 雨や蒸気などの水分のかかる場所では、使用しないでください。(漏電・各部の発錆・寿命低下の原因)
- 濡れた手では絶対に触れないでください。(感電事故)
- 必ずアース(接地)してください。(感電事故)
- アース線はガス管には絶対に接続しないでください。(ガスによる火災・爆発事故の原因)

警告

- 本機を使用中、身体をアース（接地）されているものに接触させないようにしてください。（感電事故）
- お子様や作業関係者以外は近づけないでください。（人身事故の原因）
- きちんとした服装で作業してください。（人身事故の原因）
- 移動や落下の恐れがあるので、床面が硬い、水平な面に置いて使用してください。また、高所で使用する場合は落下防止を確実にしてください。（人身事故、転倒・破損事故の原因）
- 開口部に指およびくぎ、ドライバー、テープなどの異物を入れないでください。（人身事故・製品の破損の原因）
- 高温や直射日光の当たる場所、風通しの悪い場所では使用しないでください。狭い箱などに入れての使用はしないでください。また、吸気・排気口をふさぐ状態での使用はしないでください。（寿命低下の原因）
- ごみ・ほこりの多い場所では使用しないでください。鉄粉、砂じん、粉じんなどの異物がかかる場所では使用しないでください。（過熱事故、異常摩耗の原因）
- 使用前に各部を点検してください。
 - ・ 損傷した部品がないか、正常に作動するか、所定機能を発揮するか。
 - ・ ねじの緩み、その他、運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか。
 - ・ さし込みプラグ、コードに異常がないか。異常がある場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機（株）の相談と修理の窓口にご依頼してください。
- カプラにエアセット、ペアソケットなどの重量物を直接接続しないでください。（破損事故）
- 油断しないで十分注意して作業を行ってください。本機を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。常識を働かせてください。疲れているときは、使用しないでください。
- コードに無理な力を加えないでください。（断線・ショート・焼損事故の原因）
- 電源電圧が単相 100 Vであることを確認してください。また、発電機や直流電源では使用しないでください。昇圧機などのトランス類は使用しないでください。（起動不良・モーターの焼損の原因）
- 本機が接続される電源に、感電防止用漏電しゃ断装置（15 mA相当）を設置してください。また、接地工事を必ず行ってください。（漏電・感電事故の原因）
- 電源は十分余裕のある容量としてください。（起動不良・モーター焼損などの原因）
- さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- 継ぎ（延長）コードの接続をさけ、直接電源に接続してください。また、継

警告

ぎ（延長）コードを使用する場合は、アース線を備えた3心キャプタイケールを使用してください。（起動不良・モーター焼損などの原因）

- 継ぎ（延長）コードで他の機器との併用はさけてください。（起動不良・モーター焼損の原因）
- 本機に接続するエアホースは、耐熱温度70℃以上、最高使用空気圧力0.98 MPa{10 kgf/cm²}以上、呼び径6 mm以上のホースを使用してください。（破裂事故の防止）
- エアホースは優良なエアプラグ、ホース金具で確実に固定されているものを使用してください。（抜けによる事故防止）
- 使用する工具の最高使用圧力を確認し、それ以上の圧力には減圧弁を設定しないでください。（破損、破裂事故の防止）
- 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音・異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、さらにドレンコックを開いて空気タンク内の圧縮空気を全部抜き、点検・修理をお買い求めの販売店、または日立工機（株）の相談と修理の窓口にご依頼してください。（人身事故の原因）
- ドレンおよび吐出空気には、大気中の水分および摩耗粉、サビなどが含まれています。顔に向けてドレンを排出しないでください。周囲に飛散するものがないことを確認し、徐々にドレンコックを開いてください。また、顔を近づけてエアホースを抜かないでください。（失明の原因）
- 落としたり、ぶつけたりしますと、空気タンクなどに変形や破損を生じ、運転中の圧力により、破損片が飛散し、人身事故につながる場合があります。
- ハンドルに変形や破損がある場合、運搬中に落下して破損および人身事故につながる場合があります。
- ハンドル、空気タンクなどに変形や破損および、ねじの緩みがある場合はそのまま使用せずに、修理をお買い求めの販売店、または日立工機（株）の相談と修理の窓口にご依頼してください。
- コードを無理に引っ張らないでください。熱、油、角のとがった所に近づけないでください。断線やショートの原因となり、焼損事故につながります。
- 本機に物を載せたり、座ったりしないでください。（破損・事故の原因）
- 運転時、運転直後に空気タンクなどの金属部に直接手などで触れないでください。（人身事故の原因）
- 使用後は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、空気タンク内の圧縮空気を全部抜いてください。
- 本機を運搬するときは、各部の温度が十分さめてから行ってください。さらに必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、空気タンク内の圧縮空気を全部抜いてから運搬してください。また、自動車などで運搬する場合は、脚ゴムを下にして運搬してください。

警告

- 電圧が極端に低い場合は、サーマルプロテクターが作動せずにモーターがうなり音を発した状態が続き、モーターの焼損に至る場合があります。
- 電源や配線の容量が不足し電圧が下がった場合は、空気を圧縮しないことがあります。適切な電源・配線でご使用ください。
- 電圧の低い状態および高い状態で使用されますと、性能低下さらに、故障の原因となり、製品寿命を短くしますので適正な電源でご使用ください。
- サーマルプロテクターが作動しなくなるような改造は絶対にしないでください。(起動不良などによる焼損事故防止ができなくなります。)
- 保守点検作業時は、必ずさし込みプラグを電源コンセントから抜き、空気タンク内の圧縮空気を全部抜いてから行ってください。(感電・けがの原因)
- 交換部品は、必ず日立純正部品を使用してください。(破損・事故の原因)
- 故障のときは、使用せずに修理をお買い求めの販売店、または日立工機(株)相談と修理の窓口へ依頼してください。
- 電源を入れたままカバーを開けますと、冷却ファンが露出し、運転した場合に人身事故につながる恐れがあります。
- 空気タンクに空気漏れがある場合は絶対に使用しないでください。また、空気漏れ箇所の補修、改造も絶対に行わないでください。
(破損・破裂による人身事故の原因)
- 本機の分解・改造および部品の改造は、絶対にしないでください。
(破損・事故の原因)
- 長期間(1ヶ月以上)ご使用にならない場合は、保管前にドレンコックを全開にし、5分以上の運転を行い、さび付きなどを防いでください。また運転を再開する場合も同様の運転を実施してください。(異常摩耗・破損・事故の原因)
- 使用しない場合は、乾燥した、子供の手の届かない場所に保管してください。

注意

- アンモニア・酸・塩分・オゾンガス・亜硫酸ガスなどの腐食性ガスのある場所では使用しないでください。(圧縮機全体の発錆・寿命低下の原因)
- 停電および雷の場合、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。(焼損・事故の原因)
- 騒音に関しては、法令および各都道府県などの条例で定める規制があります。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本機に表示しているシンボルマークの説明



取扱説明書をお読みください。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。



感電の恐れあり。

運転するとき以外は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

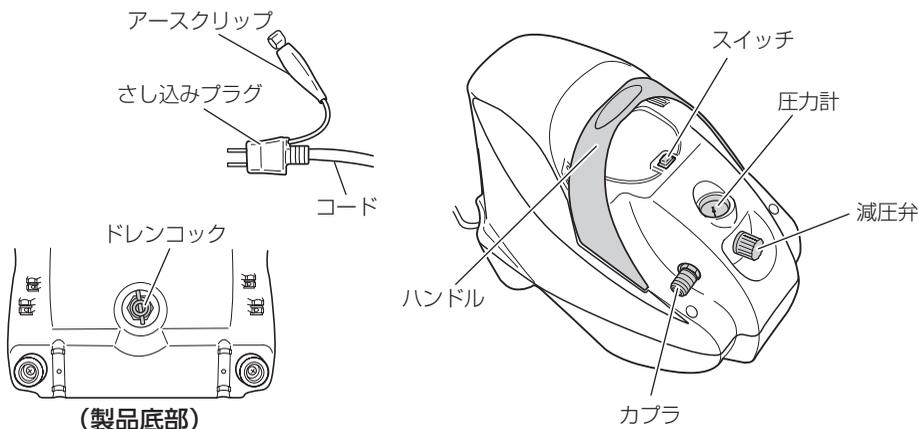


急に始動する恐れあり。

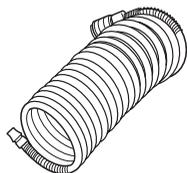
スイッチが入ったままさし込みプラグを電源コンセントにさし込むと、急に始動する可能性があります。必ずスイッチが切れた状態でさし込みプラグを電源コンセントにさし込んでください。

また、停電などで停止した場合、電源が復帰すると急に始動しますので、必ずスイッチを切っておいてください。

各部のなまえ



付属品



エアホース (カブラ付)
長さ10m×内径6mm



エアダスター

ご使用前の準備

作業場は整頓し、明るくしてお使いください。

警告

- さし込みプラグの先端のアースクリップ、アース線は、念のため異常のないことを確認してから使用してください。地中に接地極（アース板、アース棒）を埋めるなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要です。電気工事店にご相談ください。なお、アース線をガス管に取付けることは事故の原因になるので、絶対にしないでください。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

● 漏電しゃ断器を設置します

万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。また、この機体は必ずアース（接地）をしてください。定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が接地されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアースされるようにおすすめします。

● エアホースを用意します

警告

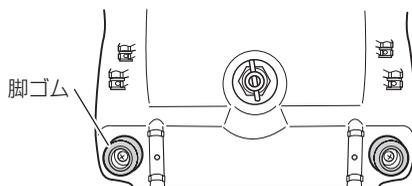
- 本機に使用するエアホースは、耐熱温度70℃以上、最高使用空気圧力0.98MPa {10kgf/cm²} 以上、内径6mm以上のエアホースを使用してください。

●機体を設置します

⚠ 警告

- 爆発性、引火性ガス（アセチレン、プロパンガスなど）、石油類（ガソリン、灯油など）、有機溶剤（シンナーなど）および爆発性粉じんなど、および火気のある場所で使用しないでください。
- 塗装用を使用する場合は、塗装場所から6 m以上離れた換気のよい場所に設置してください。

必ず脚ゴムを下にして、床面が硬い、水平な面に置いて使用してください。また、高所で使用する場合は落下防止を確実にしてください。



(製品底部)

●継ぎ（延長）コードを使う場合

⚠ 警告

- 継ぎ（延長）コードは損傷のないものを用意してください。
- 必ずアース（接地）できる接地用の1心をもつ3心キャプタイヤケーブルを使用してください。

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ (mm ²)	最大の長さ (m)
1.25	10
2	20

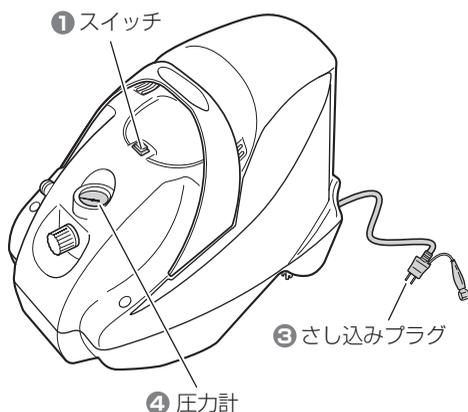
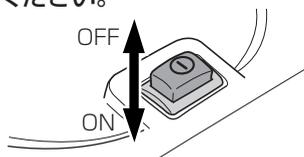
ご使用前の点検

警告

- ご使用前に次のことを確認してください。手順①～②については、さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

1 スイッチが切れていることを確かめる

- スイッチが入っているの知らずに、さし込みプラグを電源コンセントにさし込むと、不意に動き、思わぬけがの原因になります。スイッチがOFFであることを確認してください。



2 電源を確かめる

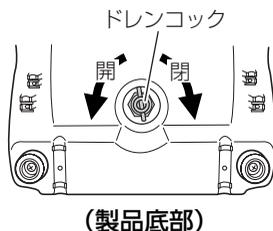
- このエアコンプレッサは交流100V用です。200V電源、直流電源に接続すると、製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

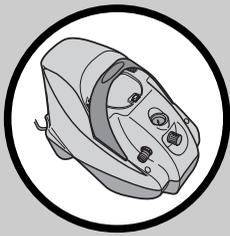
3 コンセントを確かめる

- 電源コンセントががたついたり、さし込みプラグが抜けやすかったり、アース（接地）端子が不完全なようだと修理が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。そのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

4 圧力計を確かめる

- 本機の圧力計は、減圧弁により調整した圧力を表示する構造となっています。また、内蔵されている圧力スイッチの動作を確認するための計器でもあります。ドレンコックを開き、空気タンク内の圧縮空気を全部抜いたとき、圧力計の指針が「0」付近にあることを確認してください。





使用する

必ず以下の手順を守って、安全にお使いください。

1 カプラに接続されている器具がないことを確認する。

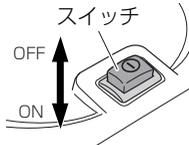


警告

- 本機が吸入圧縮、圧送できるガスは空気のみです。空気以外のガス圧縮には絶対に使用しないでください。
- 爆発性、引火性ガス（アセチレン、プロパンガスなど）、石油類（ガソリン、灯油など）、有機溶剤（シンナーなど）および爆発性粉じんなど、および火気のある場所で使用しないでください。
- 塗装用に使用する場合は、塗装場所から6m以上離れた換気のよい場所に設置してください。
- 塗装用に使用する場合は、スプレーガンの取扱説明書および塗料の注意事項を必ずよくお読みになり正しく安全にお使いください。

2 スイッチを入れる

- スイッチを「ON」にして本機を運転します。本機は圧力スイッチを内蔵していますので、空気タンク内の圧力が高くなると自動的に運転が止まり、圧力が下がると自動的に運転が始まります。



注意

- 使用する工具の最高使用圧力を確認し、それ以上の圧力には設定しないでください。

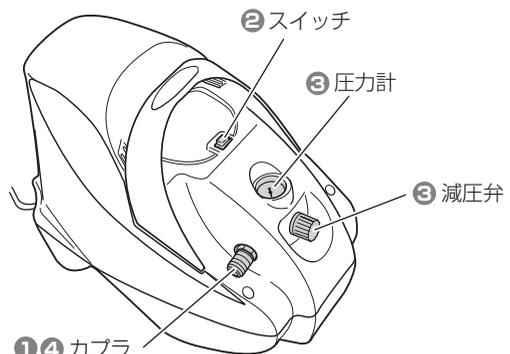
3 圧力を調整する

- 次に減圧弁を左に回して圧力を下げたのち、圧力計を見ながら少しずつ右に回して必要な圧力に調整してください。（高い圧力から調整すると使用中に調整圧力が下がる場合があります。）



4 エアホースを接続する

- 本機のカプラにエアホースを接続する場合は、図のようにしっかり接続してください。



●圧力単位について

- 本機の圧力計の単位は「MPa」表示です。取扱説明書などで「kgf/cm²」単位表示のエアダスター、スプレーガンなどについては、下表で「MPa」単位の数値に読み替え、目盛を合わせてご使用ください。

〔換算率:1.0MPa=10.20 kgf/cm²〕

圧力 単位	MPa	0.10	0.20	0.30	0.40	0.50	0.60	0.70	0.78
	kgf/cm ²	1.02	2.04	3.06	4.08	5.10	6.12	7.14	7.95

●サーマルプロテクターについて

- 本機には、モーター焼損保護のサーマルプロテクターが内蔵されています。下記の場合、運転中にサーマルプロテクターが作動し、モーターが停止することがあります。

- 本機に異常がある場合
- 継ぎ（延長）コードが不適當な場合
- 電源の容量不足

- サーマルプロテクターが作動した場合は、スイッチを切って、コードのさし込みプラグを電源コンセントから抜き、モーターが冷えるまでしばらく待ってください。また、下記について確認してください。

- 継ぎ（延長）コードの長さや太さが不適當ではないか。
（7ページ「継ぎ（延長）コードを使う場合」の表を参照）
- 他の電気機器と同一電源で使用していないか。
- 電源の容量は不足していないか。

上記の状態で使用されている場合は、次のように改善してください。

- 適正な継ぎ（延長）コードに変える。
- 継ぎ（延長）コードをやめる。
- 継ぎ（延長）コードの他の電気機器などとの併用をやめる。
- 電源容量を上げる。

- モーターが冷えたら、さし込みプラグを電源コンセントに接続し、スイッチを「ON」にしてください。
それでもサーマルプロテクターが作動する場合は、本体の異常が考えられますので、お買い求めの販売店、または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

作業を終えたら

⚠ 警告

- 使用後や移動時には、本機のスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、さらに、ドレンコックを徐々に開き、空気タンク内のドレン（水）と圧縮空気を全部抜いてください。
- 顔に向けてドレンを排出しないでください。また、周囲に飛散するものがないことを確認し、徐々にドレンを排出してください。
- 顔を近づけてエアホースを抜かないでください。

1 スイッチを切る

スイッチ

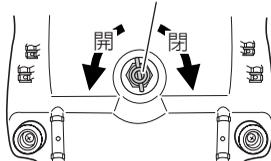


2 さし込みプラグを電源コンセントから抜く

3 ドレンと圧縮空気を抜く

- 本機の底部中央にあるドレンコックを徐々に開き、空気タンク内のドレンと圧縮空気を全部抜いてください。

ドレンコック



(製品底部)

- 注** ● 本機を倒した状態でドレンを抜かないでください。

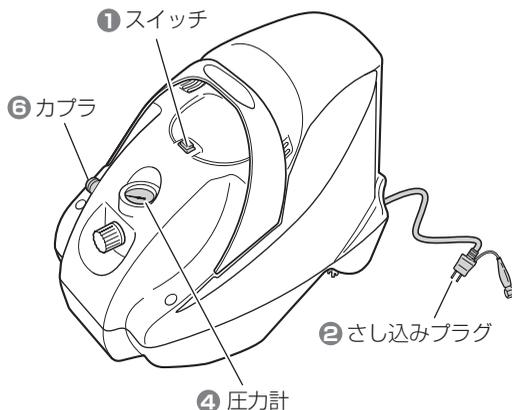
4 圧力計が0 MPa (0 kgf/cm²) となっていることを確認する

5 ドレンコックを閉じる

6 エアホースをはずす

- 接続器具のスイッチもOFFになっていることを確認する

カプラ



運搬する

警告

- 運転直後の運搬は、各部の温度が十分さめてから行ってください。
- 必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、さらに空気タンク内のドレンと圧縮空気を全部抜いてから運搬してください。
- ハンドルに変形や破損がないか点検してください。
- 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損、変形がないことをよく点検してください。
- コードを無理に引っ張らないでください。

1

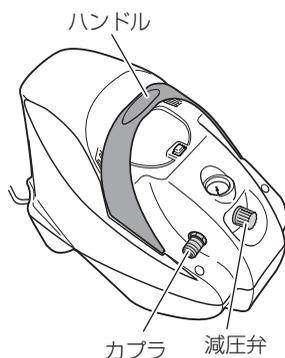
スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、ドレンと圧縮空気を抜く

- 前ページ「作業を終えたら」の手順①～⑥に従い、スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、さらに空気タンク内の圧縮空気を抜いてください。

2

運搬する

- ハンドルをしっかりつかんで運搬してください。
- カブラや減圧弁などを持って運搬しないでください。



3

移動防止を施す

- 自動車での運搬時は移動防止を施してください。

使
い
か
た

点検・お手入れする



- 点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、さらにドレンコックを開き、空気タンク内の圧縮空気を完全に抜いてください。
- カバーを開けたり、分解をしないでください。
- 空気タンクのねじは、絶対に緩めないでください。

● 日常のお手入れ

- 本機を使用する場合、1日に最低1回、下記の点検を行ってください。
 - ドレンを抜く。
 - 圧力計、圧力スイッチ、減圧弁が正常に動作するか確認する。
 - 異常振動、異常音がないか確認する。

● 空気タンクへの充填時間の確認

- 空気タンク内の圧力が0MPaから運転し、自動的に運転が止まるまでの充填時間が2分以上の場合は、機体内部の磨耗、または空気漏れなどにより性能が低下しておりますので、修理をお買い求めの販売店、または日立工機（株）の相談と修理の窓口にご依頼ください。

- 注**
- 充填するときは、ホースや補助タンクをはずした状態で行ってください。
 - 電圧が低下すると性能が低下しますので、継ぎ（延長）コードを使わないで確認してください。
 - ドレンコックがゆるんでいますと、この部分より空気が漏れますので、空気タンク内の圧縮空気を全部抜いたのち、しっかりとドレンコックを閉じ確認してください。

● 取付けねじの点検

- 各部の取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか、定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら、締めなおしてください。ゆるんだままお使いになりますと、けがなどの事故の原因になります。

●給油について

- 本機は、乾式潤滑構造を採用していますので、給油の必要はありません。

●保管について

- 長期間ご使用にならない場合は、保管前にドレンコックを全開にし、5分以上の無負荷運転を行い、サビつきなどによる不具合を防いでください。
使用しない機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。
 - お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所
 - 直射日光の当たる場所
 - 引火爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

故障かな…というときは

●運転中の異常確認

次の内容を点検してください。それでも直らない場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機（株）の相談と修理の窓口にご依頼ください。

症 状	考えられる原因	処 置
空気タンクの圧縮空気を完全に抜いた状態で、スイッチを入れても、運転しない。または、モーターが起動しない。	・さし込みプラグが電源コンセントにさし込まれていない。	・スイッチが切れていることを確認してから、さし込みプラグを電源コンセントにさし込んでください。
	・サーマルプロテクターが作動している。	・P10「サーマルプロテクターについて」に従い処置してください。
運転中に異常振動、異常音がする。	・機体内部が故障している。	・P14「作業を終えたら」の手順に従い処置をしてから、点検や修理をお買い求めの販売店、または日立工機（株）の相談と修理の窓口にご依頼してください。
安全弁が作動し空気が吹き出す。		
空気を消費していないのに、短時間で再起動したり、空気の漏れる音がする。	・エアホースが不良である。	・エアホースに損傷がないか確認してください。 ・エアホースを交換してください。 (P6エアホースを用意します参照)
圧力が上昇しない。	・ドレンコックが開いたままである。	・ドレンコックを閉じてください。 (P8④イラスト参照)
	・減圧弁を左いっぱいに回したままである。	・減圧弁を右に回してください。 (P9③のイラスト参照)

仕 様

形 名	FEC 58
使 用 電 源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V
モ ー タ ー	単相直巻整流子
全 負 荷 電 流	8.5 A
出 力	750 W
空気タンク内最高圧力	約 0.8 MPa (約 8.0 kgf/cm ²)
取出し可能圧力	0 ~ 0.8 MPa (0 ~ 8.0 kgf/cm ²)
吐 出 し 空 気 量 0.7 MPa時 (7.0 kgf/cm ²)	47 L/min
空 気 タ ン ク 容 量	6 L
機 体 寸 法	幅 276 × 奥行 468 × 高さ 405 mm
質 量	9 kg
空 気 取 出 し 口	カプラ×1個
コ ー ド	アースクリップ付き 3心キャプタイヤケーブル

アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。

正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご依頼ください。

また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

相談と修理の窓口一覧表

(家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

エアコンプレッサについてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようになっております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談と修理の窓口にご相談ください。なお、相談と修理の窓口の所在地、電話番号など、変わる場合もありますので、その節は「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お買物相談、販売店のご紹介、総合的なご相談と修理についてのお問い合わせは…〔相談と修理の窓口〕へ

お住まいの地域	窓口の所在地	支店(部)名	電話番号
全 国	港 区	営業本部	(03) 5783 - 0626
北海道	札 幌 市	北 海 道	(011) 271 - 4751
青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	仙 台 市	東 北	(022) 288 - 8676
茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、千葉、神奈川、山梨、新潟、長野、静岡県富士川以东	台 東 区	東 京	(03) 5812 - 6331
岐阜、愛知、三重、静岡県富士川以西	名 古 屋 市	中 部	(052) 262 - 3811
富山、石川、福井	金 沢 市	北 陸	(076) 263 - 4311
滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	大 阪 市	関 西	(06) 4796 - 8451
鳥取、島根、広島、岡山、山口	広 島 市	中 国	(082) 228 - 0537
徳島、香川、愛媛、高知	高 松 市	四 国	(087) 841 - 6191
福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	福 岡 市	九 州	(092) 621 - 5772

メ モ

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号（No.）などを下欄にメモしておかれますと、サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日

年

月

日

販売店名

☎ () —

「電動工具お客様相談センター」 ☎ 0120-208822（フリーダイヤル・無料）
※携帯電話からはご利用になれません。 （土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00）
電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

 **日立工機株式会社**

〒108-6020 東京都港区港南 2-15-1 (品川インターシティA棟)
国内営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)